

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 7月 25日

事業所名 ウイズ・ユー日立

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	0	法令を遵守したスペースを確保しています。指導室と学習室を壁で仕切ることにより、お子さまが活動に集中できるよう配慮しています。	
	2	職員の配置数は適切である	7	0	法令で必要とされる配置数に加え、指導員又は保育士を1名以上配置しています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7	0	指導室と学習室を壁で仕切ることにより、お子さまが活動に集中できるよう配慮しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7	0	毎日清掃・消毒を行っています。また、休憩室や相談室など、お子さまの体調管理や個別活動などに合わせた部屋を設けています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	0	日々の活動前や活動後、昼食の時間等、職員が集まる時間を利用して参画しています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	2		保護者さま向けの評価表は今回初めての実施なので、集計結果をまとめた上で、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげてまいります。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	3		保護者さま向けの評価表を集計しまとめた上で、保護者さまの意向等を把握し、ホームページ等に公開します。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	4		現在は、利用者・社内の2者評価をとっております。保護者等の評価表を集計し、改善すべき点をピックアップして今後の業務改善につなげてまいります。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	1	土曜日など、就業終了時間が早い日などを利用し研修を行っています。	今後も土曜日などを利用し、可能な限り全職員が参加できるよう、時間を確保し継続してまいります。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7	0	日々の記録や職員たちの話し合いにて、様々な視点で考えています。	引き続きお子さまや保護者さまのニーズを分析し、職員全員で意見を出し合い、支援計画を作成します。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	2	お子さまがわかりやすいよう、視覚化された見通し表などを提示し、活動の参加を促しています。	あらゆる場面を想定し、お子さまの行動状況を把握し、活動内容を変更するなど、考慮していく必要もある。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
適切な支援の提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7	0	お子さまや保護者さまの意向を踏まえ、総合的な支援方針や目標、本人のニーズ等を取り入れながら支援内容を設定している。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7	0	HUGシステムにある「サービス提供記録・ケア記録・生活記録」の中で、日々個別支援計画についての振り返りを行い、保護者さまに公開しています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0	毎日日替わりで進行役(リーダー)を決め、立案をリーダーだけに任せず、職員全員で相談しながら活動プログラムの立案を行っています。また、お子さまの事例を共有・議論する場を設けています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	活動プログラムの流れは基本的に変えず、活動内容をお子さまの特性や気持ち・興味に合わせて、効果的に楽しく学べる活動を追求します。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	7	0	工作など個別で行う活動と、運動遊びなど集団で行う活動を組み合わせ活動を行っています。支援計画をもとに、自由遊びの時間などを使い、お子さまの状況やニーズに応じた支援を行っています。	集団活動が中心になりがちな面があり、今後個別で支援するような活動も積極的に取り入れていきたいです。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	毎日日替わりで進行役(リーダー)を決め、朝の送迎前や空き時間に、その日行う支援内容について職員に周知し、支援内容や役割などを確認しています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	0	昼食の時間やサービス提供記録・ケア記録・生活記録の記入の時間等、職員が集まる時間や話し合いが出来る時間を利用して支援の内容などを職員間で共有しています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	HUGシステムにある「サービス提供記録・ケア記録・生活記録」の中にその日行った支援について必ず明記し、今後の支援の改善につなげています。	活動記録表にある「次回引継ぎ事項」に気が付いた点などを記入し、振り返りをできるようにする。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7	0	支援計画の更新毎に目標と支援内容の見直しを行っています。また、支援計画等に基づいて利用者の状況と目標や活動が一致しているか、見直しの必要性があるかを判断しています。	
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	1	お子さまの支援について担当制はとっておりませんが、すべての職員がお子さまの状態を把握し、チームでの支援を行っております。相談支援員や学校関係者など、お子さまの状況の共有を行っています。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7	0	必要に応じて関係機関と連携をとり、お子さまへの支援を行っています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	7		現在該当する利用者はいませんが、医療職スタッフがいないため、医療的ケアが必要なお子さまの受け入れに際しては、主治医等のご意見を確認した上で慎重に判断いたします。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	7		同上
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	3	必要に応じて保護者さまや学校関係者等、お子さまの状況や支援内容の情報の共有を行っています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	2	必要に応じて保護者さまや学校関係者等、お子さまの状況や支援内容の情報の共有を行っています。	現在契約している利用者さまに就学したお子さまがいないため、移行支援としては行っていませんが、更なる情報の共有が必要になるため、今後行っていきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	6		今後、発達支援研究会等の外部研修に積極的に参加できる体制を作っていきたいと思います。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	6		幼稚園等との交流や活動の機会の実施について、現在計画を進めています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	6		お子さまの支援や他事業所のサービスなど、支援内容や課題を共有するため、今後積極的に参加していく必要があります。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	HUGシステムにある「保護者との連絡事項」への記載や、送迎時にお子さまの様子をお伺いし、状況や課題について保護者さまと共通理解を図るよう努めています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6	1	月1回、おはなし会「AND・YOU」を開催しています。 また、HUG内メールやお電話にてご相談に応じたサポートをさせていただいています。	
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0	運営規定、利用者負担金額等について、契約時にご説明させていただいています。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7	0	契約時に、支援計画を示しながら支援内容のご説明をさせていただいています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	月1回、おはなし会「AND・YOU」を開催しています。 また、必要に応じて事業所内相談支援（個別面談）も行います。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7	0	保護者さま同士のつながりが持てるようおはなし会「AND・YOU」を開催しています。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	相談やご意見、ご要望をいただいた際には、詳細内容を確認し、改善方法の検討などを含め、対応させていただいています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0	毎月お配りしております利用予定表に、行事予定など記載しております。 また、HUGシステムにある「サービス提供記録・ケア記録・生活記録」に、活動の様子を記載し、定期的にインスタグラムでも発信しております。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7	0	個人情報が記載された書類は常時鍵付きキャビネットへ保管しています。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	HUGシステムや体調管理シートを活用して情報伝達等を実施しています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	5	「職場見学」など地域住民との関わりを持てる機会を作っています。	特別プログラムを行う際、お子さまだけでなく保護者さまも招待するなど、今後行っていきたいです。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	2	避難経路・避難場所の提示、感染症予防への対策・対応を行っています。また、非常災害対策計画についての策定を行い、職員や保護者さまに周知しています。	定期的な情報提供や個別に配布物にて周知するなど、より体制を強化できるよう検討していく必要があります。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	避難訓練、消火訓練など定期的（年2回以上）に行っています。	今後、一週間通しての訓練の実施と保護者さまへの周知を検討しています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	7	0	契約時に個別配慮シートに記載し、保護者さまからお子さまの状況等を確認しています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	2	契約時に個別配慮シートに記載し、保護者さまからお子さまの状況等を確認しています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	3	お子さまの様子を観察しながら、ヒヤリハットに値する行動等について、職員間で情報の共有を行っています。	施設内で発生する恐れがあるヒヤリハット事例集を作成し、事故を未然に防ぐための社内研修が必要である。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	土曜日など、就業終了時間が早い日を利用し虐待防止研修を行っています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	1	土曜日など、就業終了時間が早い日を利用し身体拘束に関する研修を行っています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。